

# いま立つ場所で 悼むこと、抗うこと：

## 沖縄の米軍基地問題と

## ジェンダー、セクシュアリティ

日時 Date

2018年

**9月30日(日)13:00～17:00** 開場 12:30 / 途中休憩あり

会場 Place

国際基督教大学ダイアログハウス2階 国際会議室

登壇者 Speakers

高里鈴代 「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」代表

秋林こずえ 同志社大学大学院博士後期課程教授

黙ってら連 (いちむらみさこ、京極紀子、そら)

司会、コーディネーター Moderator, Coordinator

羽生有希 東京大学大学院博士後期課程、CGS研究所助手

言語 Language 日本語(通訳なし)

参加費 Fee 無料、予約不要

### 会場へのアクセス Access



お問い合わせ先:ジェンダー研究センター  
181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2  
国際基督教大学 教育研究棟(ERB-1) 301  
Tel: 0422-33-3448 Fax: 0422-33-3789  
開室時間: 12:00～17:00(Mon-Fri)

ERB-1 301, ICU, 3-10-2, Osawa, Mitaka-shi,  
Tokyo Zip:181-8585  
Tel: (+81)422-33-3448 Fax: (+81)422-33-3789  
Open Hour: 11a.m.-5p.m.(Mon-Fri)

E-mail: [cgs@icu.ac.jp](mailto:cgs@icu.ac.jp)  
Website: <http://subsite.icu.ac.jp/cgs/>  
TwitterID: [icu\\_cgs](https://twitter.com/icu_cgs)  
Facebook Page: [icu.cgs](https://www.facebook.com/icu.cgs)

基地問題は、性暴力を含む軍事暴力の問題でもある。

暴力によって奪われた、女性をはじめ多くの人々のいのちを追悼することと、暴力に声をあげて抗議すること。

この二つは、軍隊の男性中心主義に抗う運動として、どのようにつながり、他方でどのようなジレンマを生み出してきたのか。

このイベントでは、沖縄のみならず「本土」でも行われてきた追悼・抗議を取り上げ、誰にとってもひとつとではない沖縄米軍基地・軍隊の問題を、ジェンダー・セクシュアリティの視点から考え、行動していくことをめざす。

# いま立つ場所で 悼むこと、抗うこと：

## 沖縄の米軍基地問題と

## ジェンダー、セクシュアリティ

### 高里鈴代

1995年の米兵による少女暴行事件を契機に結成された「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」共同代表。また、「強姦救援センター・沖縄 (REICO)」代表。「軍事主義を許さない国際女性国際女性ネットワーク」沖縄代表。辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議共同代表、元那覇市議会議員。著書に『沖縄の女たち—基地・軍隊と女性の人権』（明石書店、1996年）、共著に「沖縄・社会を拓く女たち」（沖縄タイムス社 2014年）、富坂キリスト教センター編『沖縄にみる性暴力と軍事主義』（御茶の水書房、2017年）など。

### 秋林こずえ

専門はジェンダー研究、平和教育研究。特に「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」に関する研究、ジェンダーの視点からの脱軍事化に関する研究を行っている。婦人国際平和自由連盟 (WILPF) 国際会長。

共著に田中かず子編『アジアから視るジェンダー』（風行社、2008年）、富坂キリスト教センター編『沖縄にみる性暴力と軍事主義』（御茶の水書房、2017年）など。

### 黙ってら連

沖縄県うるま市で2016年4月に発生した元海兵隊兵士による強姦殺人事件に対して、被害者の追悼と米軍基地撤退を求め、新宿で沈黙のスタンディングアピールを行ったグループ。スタンディングメンバーのポートレートとメッセージ、また「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」がまとめた「米兵による戦後沖縄の女性に対する犯罪」などを元にした年表も貼付したZineを制作。